

基準期間のもと畜費の推計方法の見直し

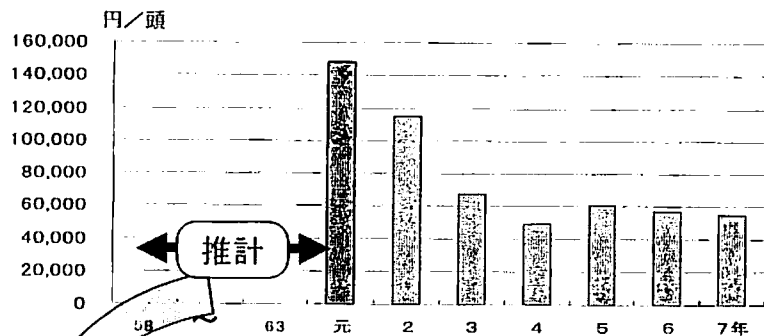
現行

・平成元年から7年までの生産費調査結果のもと畜費の価格動向を分析して推計。

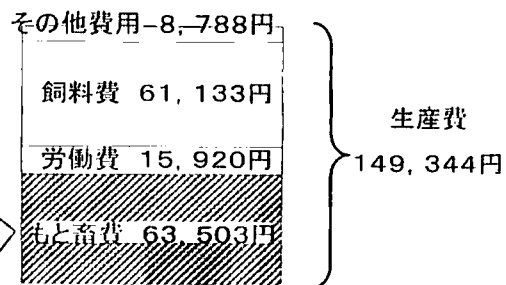
見直し方向

- ・基準期間に実現されたヌレ子農家販売価格に、導入経費等を上乗せしてもと畜費を推計。
- ・導入経費等は、平成元年から7年までの生産費調査結果のもと畜費とヌレ子農家販売価格との差から計算。

平成元年以降のもと畜費(生産費調査)の推移

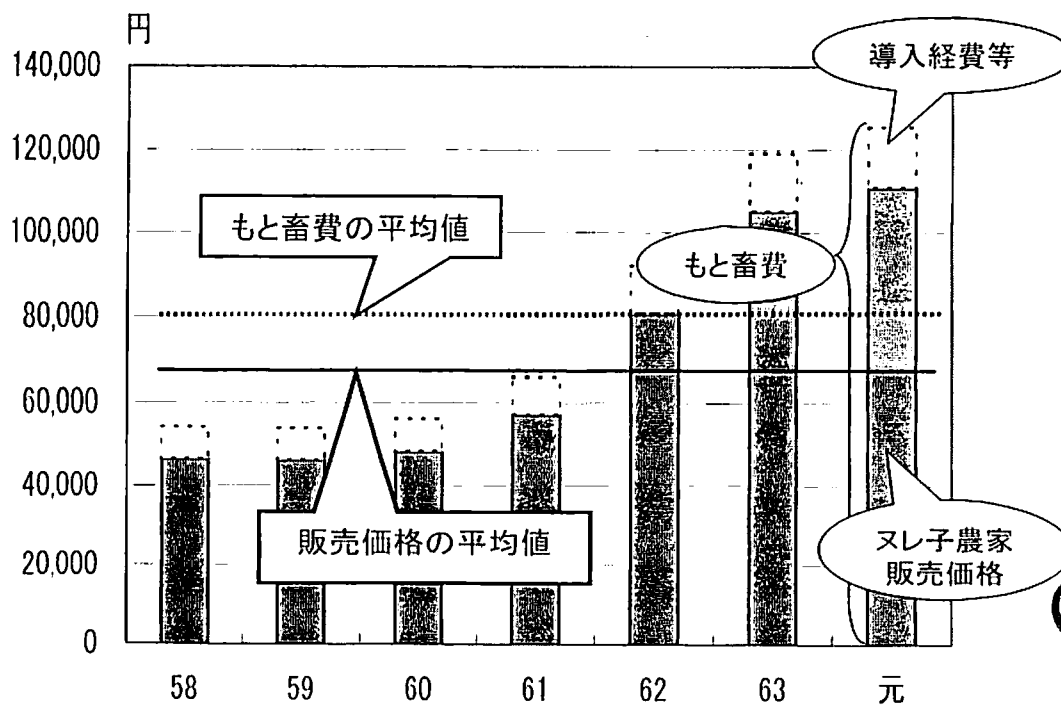


基準期間の生産費の推計結果(現行)



注: 基準期間は昭和58年2月~平成2年1月の7年間

基準期間のヌレ子農家販売価格(農業物価統計)の推移



注: 導入経費等には、輸送費や市場取引手数料等が含まれる。

基準期間のもと畜費の推計

(単位:円/頭)

・平成元年から7年の生産費調査における「もと畜費」と、農業物価統計の「ヌレ子農家販売価格」の関係から、両者の一次回帰式を作成。

〈関係式〉

$$\text{もと畜費} = \text{ヌレ子農家販売価格} \times 1.046 + 5,838$$

生産費調査期間 (ヌレ子導入期間)	ヌレ子農家販売価格	もと畜費
63. 11~元. 7 (63. 5~元. 1)	104,627	131,727
元. 8~2. 7 (元. 2~2. 1)	122,825	148,422
2. 8~3. 7 (2. 2~3. 1)	96,045	114,979
3. 8~4. 7 (3. 2~4. 1)	55,683	67,315
4. 8~5. 7 (4. 2~5. 1)	40,818	49,380
5. 8~6. 7 (5. 2~6. 1)	44,393	60,926
6. 8~7. 7 (6. 2~7. 1)	42,636	56,892

(単位:円/頭)

・上記の関係式に、基準期間に対応するヌレ子農家販売価格を代入することによって、基準期間のもと畜費を計算。

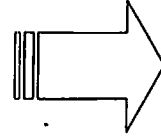
基準期間 (ヌレ子導入期間)	ヌレ子農家販売価格
58. 2~59. 1 (57. 8~58. 7)	46,664
59. 2~60. 1 (58. 8~59. 7)	46,392
60. 2~61. 1 (59. 8~60. 7)	48,428
61. 2~62. 1 (60. 8~61. 7)	57,268
62. 2~63. 1 (61. 8~62. 7)	80,819
63. 2~元. 1 (62. 8~63. 7)	105,153
元. 2~2. 1 (63. 8~元. 7)	110,903

資料:農林水産省統計部「農業物価統計」、「畜産物生産費調査」、
農林水産省畜産部食肉鶏卵課推計

労働費への飼養実態(規模拡大状況)の反映方法

現行

- ・生産費調査における飼養規模別の頭数割合で加重平均。(200頭以上は同一階層とされていた)



見直し方向

- ・生産費調査の200頭以上層を細分化。
- ・補給金制度における飼養規模別の頭数割合で加重平均することにより、飼養実態を反映。

(単位、上段:頭/戸 下段:円/頭)

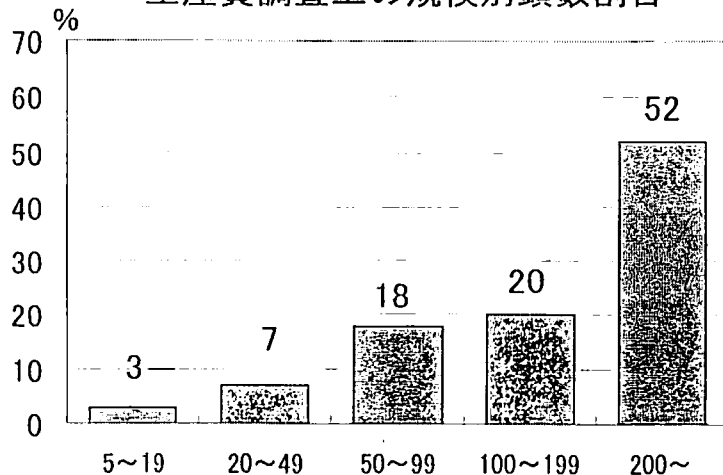
階層区分	5~19	20~49	50~99	100~199	200~
労働費	20,138	18,399	15,618	17,519	13,570

(単位、上段:頭/戸 下段:円/頭)

階層区分	5~19	20~49	50~99	100~199	200~399	400~
労働費	20,138	18,399	15,618	17,519	17,934	9,035

資料:農林水産省統計部「平成16年畜産物生産費調査」

生産費調査上の規模別頭数割合



補給金制度加入者の規模別頭数割合(16年次)

